

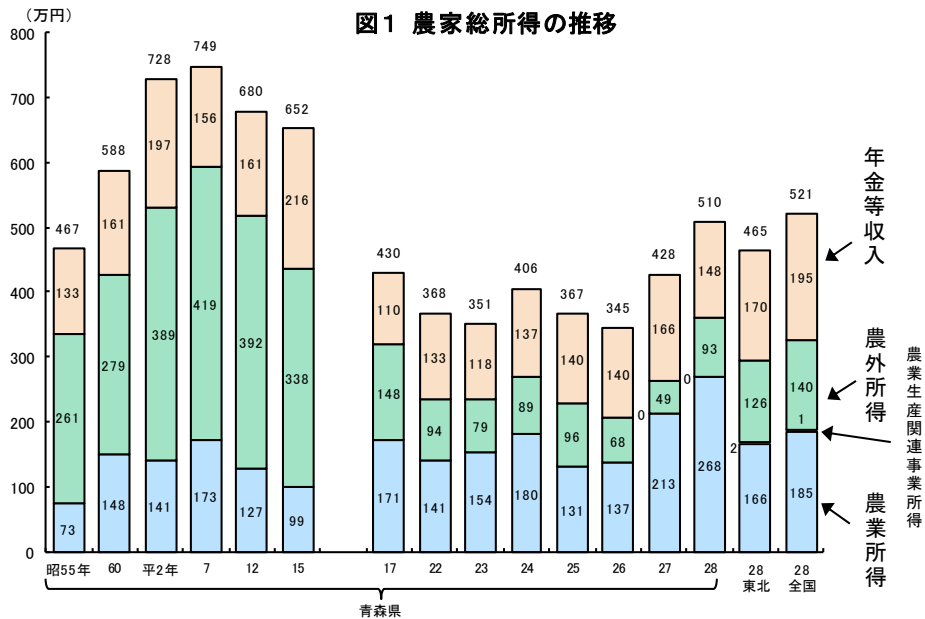
6 農家経済と農村生活

(1) 農家総所得

～農家総所得は510万円～

平成28年の本県農家の総所得は510万円で、全国に比べて低くなっている。このうち、農業所得は268万円で東北・全国に比べ高く、前年に比べ55万円増加した。農外所得は93万円、年金等収入が148万円で、いずれも全国に比べ低くなっている(図1)。

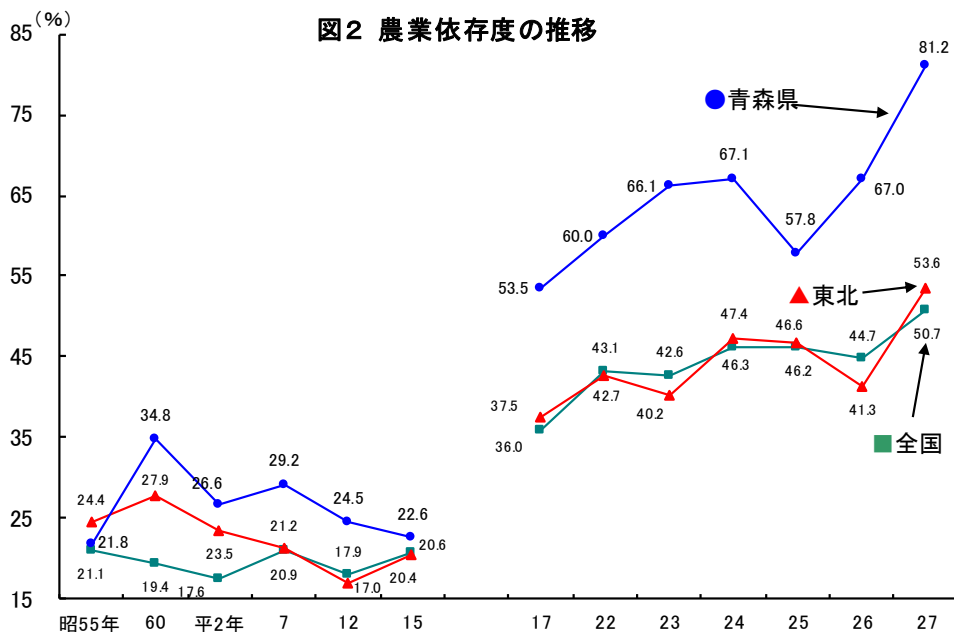
農業依存度(農業所得に占める農業所得の割合)は、81.2%で、東北・全国に比べかなり高くなっている。(図2)



注) 16年から調査方法が変更されたため、データは連続していない

29年以降は都道府県別の調査は実施していない

資料: 農業経営動向統計、経営形態別経営統計(16年～)



注) 16年から調査方法が変更されたため、データは連続していない

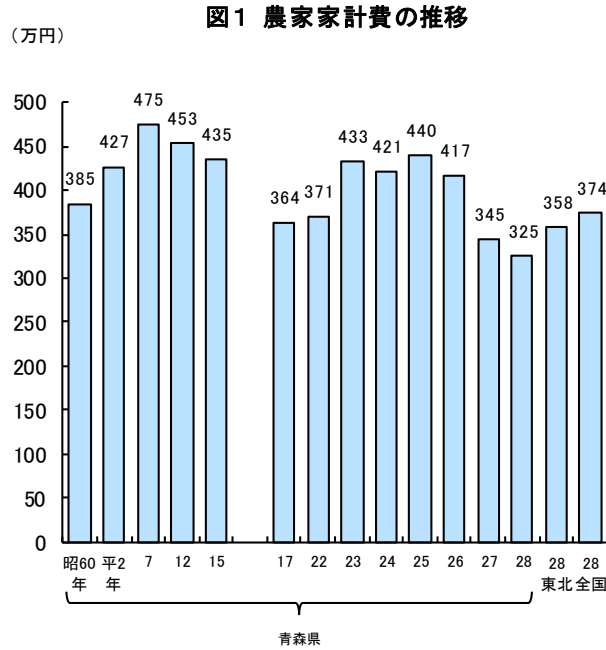
28年以降は都道府県別の調査は実施していない

資料: 農業経営動向統計、経営形態別経営統計(16年～)

(2) 農家生活

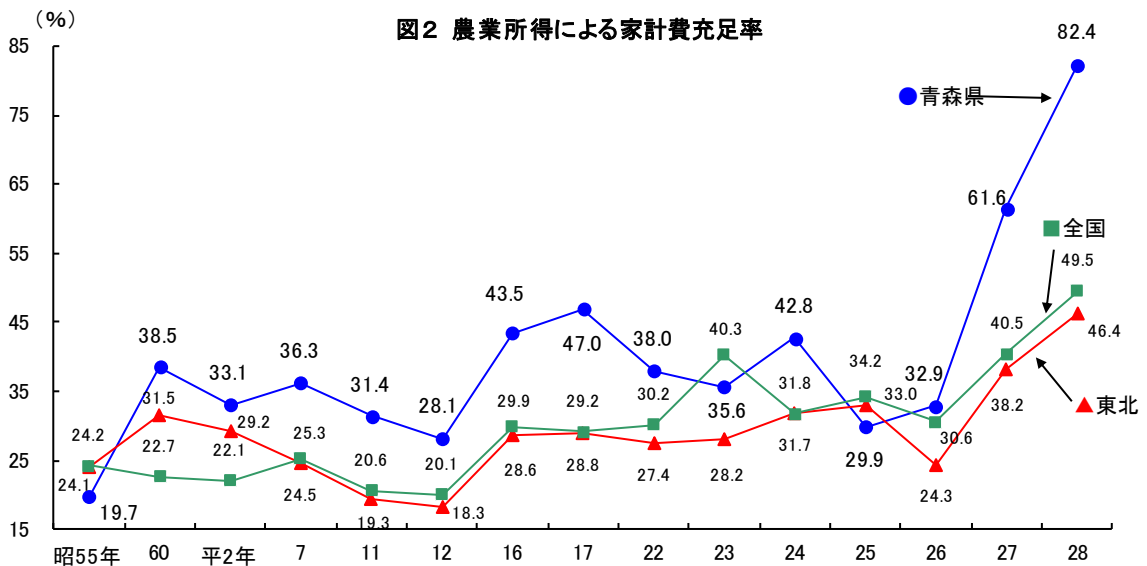
～農家家計費は325万円～

平成28年の農家家計費は、前年より20万円減の325万円となり、東北・全国に比べて低くなっている(図1)。



注) 16年から調査方法が変更されたため、データは連続していない
29年以降は都道府県別の調査は実施していない

資料: 農業経営動向統計、家計調査年報(16年～)



注) 16年から調査方法が変更され、データが公表されていない。17年以降は県農林水産政策課の試算
29年以降は都道府県別の調査は実施していない

資料: 農業経営動向統計、経営形態別経営統計及び家計調査年報

(3) 農 村 物 価

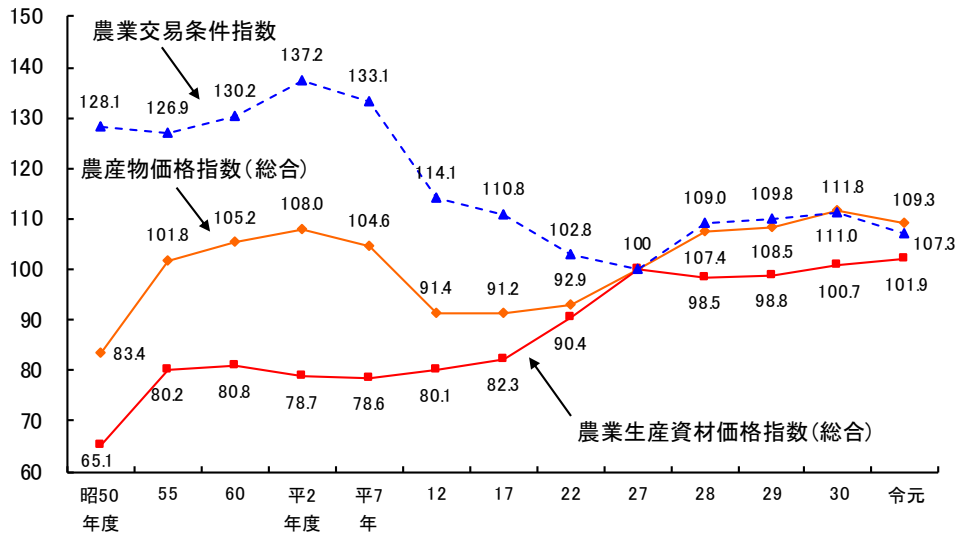
～農産物価格指数が減少～

令和元年の農産物価格指数（平成27年＝100）は、前年に比べ2.5ポイント減少し109.3となった。農業生産資材価格指数は、前年に比べ1.2上昇して101.9となっている。

この結果、農産物と生産資材価格の相対的な関係を示す農業の交易条件指数は、前年に比べ3.7ポイント減少して107.3ポイントとなった（図1）。

※農業交易条件指数（農産物価格指数／農業生産資材価格指数×100）とは、生産者の収益環境の変化を示す指標として指数化したものであり、上昇は農業の経営環境の改善を意味する。

図1 価格指数の推移(平成27年＝100)

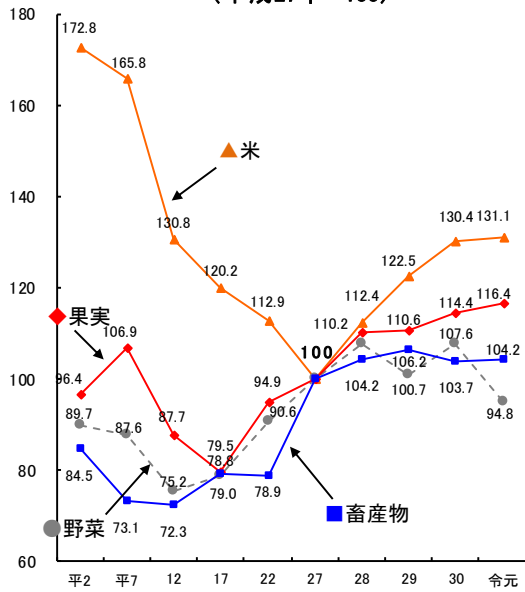


注：1) 平成7年基準改定時に年度指数から暦年指数に変更

2) 農業交易条件指数は、農業生産資材価格指数（総合）に対する農産物価格指数（総合）の比率

資料：農業物価統計調査

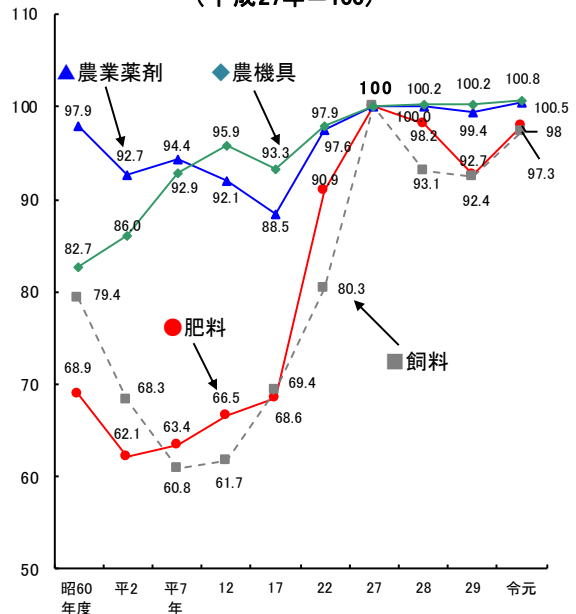
図2 主な農産物の価格指数の推移
(平成27年＝100)



注) 平成7年基準改定時に年度指数から暦年指数に変更

資料：農業物価統計調査

図3 主な生産資材の価格指数の推移
(平成27年＝100)



注) 平成7年基準改定時に年度指数から暦年指数に変更

資料：農業物価統計調査

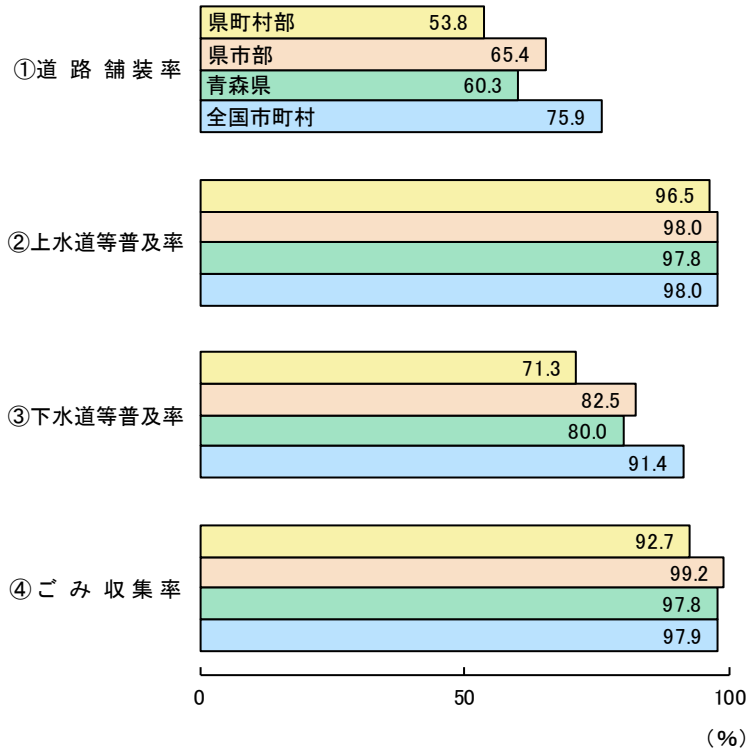
(4) 農 村 環 境

～求められる農村生活環境の整備～

農村における生活環境の整備は進みつつあるものの、県内町村部の道路舗装率は約 54%、下水道等普及率は約 71%となっており、県内市部や全国と比較して、基礎的な生活環境の整備が遅れている（図1）。

令和元年度までに農業集落排水事業は 26 市町村（旧市町村では 40）147 地区で実施された（図2）。

図1 県町村部と県市部の基礎的な生活環境(令和2年3月31日現在)



注) 上水道・下水道普及率は、行政区域内人口に対する割合である。

資料：①④平成17年度版公共施設状況（総務省）

②平成30年青森県の水道（県健康福祉部保健衛生課）

③青森県の汚水処理人口普及率（平成30年度末時点）（県土整備部都市計画課）

図2 農業集落排水事業の実施状況

●令和元年度までの農業集落排水事業実施市町村

実施市町村数	(40) 26
実施地区数	147
整備人口	104,688
整備戸数	39,113

(令和2年3月31日現在)

注)実施市町村の()書きは、合併前の旧市町村数

実施市町村一覧

青森市 (青森市)	(木造町)	板柳町
(浪岡町)	(柏村)	中泊町(中里町)
(弘前市)	(稲垣村)	鶴田町
弘前市 (岩木町)	(車力村)	六戸町
(相馬村)	(尾上町)	横浜町
八戸市 (八戸市)	平川市 (平賀町)	東北町 (上北町)
(南郷村)	(碓ヶ関村)	(東北町)
黒石市	平内町	七戸町(天間林村)
五所川原市 (五所川原市)	鱒ヶ沢町	おいらせ町(下田町)
(金木町)	西目屋村	六ヶ所村
十和田市 (十和田市)	藤崎町 (藤崎町)	南部町 (名川町)
(十和田湖町)	(常盤村)	(福地村)
三沢市	田舎館村	五戸町(倉石村)
		新郷村

注)()内は合併前の旧市町村名

資料:県農村整備課

(5) 農村の男女共同参画

～農業経営や地域社会への女性参画が進展～

地域のよりよい『農林水産業とくらし』を指揮する女性リーダーを、県では平成6年度から「ViC・ウーマン」として認定しており、令和2年4月1日現在で297人となっている(図1)。

また、女性や後継者が意欲的に農業経営に参画できるよう、家族の役割分担などを取り決める家族経営協定が進み、令和2年3月末現在の締結農家数は1,302戸で、平成10年の約22倍に増加した(図2)。

女性が主体となって運営する加工・直売・農家レストラン・体験受入れ等の起業数は、令和2年3月末現在で346件となり、販売額は54.5億円となっている(図3)。

女性起業で最も参画の多い産地直売活動では、JAや地域の各団体との連携が進められ、県内の産地直売施設及び道の駅は令和2年度で売上が117億円、施設数が165か所となっている(図4)。

